



この本、よかった！ みなさんにもおすすめしたい「くまどく本」を紹介します！

No.146 「りんごかもしれない」
作・絵：ヨシタケ シンスケ 出版社：ブロンズ新社



熊野第二小学校 6年
片平夢愛(子)
この絵本は、いろいろな視点でりんごの世界観を広げていて、とてもおもしろい本です。絶対に冷静になって考えているのがとてもおもしろいです。
片平哲也(父)
一つのりんごから広がる無数の“かもしれない”を描いていて、普段凝り固まっている思考を柔らかくしなくてはと気付かされます。大人が読んでもおもしろい作品です。
(教育総務課社会教育グループ)

ゆーすふるサンデー・防災参観日

熊野第一小学校

5月31日(土)に「ゆーすふるサンデー・防災参観日」を行いました。
この日は、児童と保護者が通学路と一緒に歩き、ごみを拾いながら登校しました。ごみ拾いをしつつ、通学路の安全を確認することで、児童が安心して登校できるようになりました。学校に到着すると、PTA 役員の保護者によって、長期保存できる水とクッキーが配られ、防災への備えについても意識を高めることができました。

その後、1 時間目には、授業参観を行いました。町内でも大きな被害の出た 2018 年の西日本豪雨災害では、第一小学校の校区内でも土砂崩れが起こったり、浸水被害が発生したりしました。授業参観では、自然災害について学び、児童たちの防災意識をさらに高めるために、どのクラスも防災に関わる授業を行いました。
保護者にも多数参観いただいた「ゆーすふるサンデー・防災参観日」、地域とともに防災について考えることのできた 1 日となりました。



▲拾ってきたごみを分別している児童たち
(教育総務課)

食缶給食スタート

熊野東中学校

食缶給食が 2 学期から始まりました。
それに伴い、8 月 26 日(火)の登校日に、給食を通して学んでほしいことや配膳方法などについて確認し、27 日(水)には、全校生徒で「給食リハーサル」を行いました。リハーサルでは、初めて給食エプロンに袖を通し、各学級で協力しながら配膳を行いました。生徒は、慣れないながらも、量が均等になるように見た目がきれいになるように丁寧に盛り付けていました。リハーサル後には、「もっと素早く準備をした方がよかった」「牛乳パックはもっとコンパクトに片付けよう」など、改善点を話し合いました。
そして、2 学期初日の 9 月 1 日(月)の給食では、テレビで紹介されたミートパスタ・ツナサラダ・小型パンを笑顔でいただきました。また、2 日(火)には瀬戸内海でとれる白魚が入った『ひろしまっ子汁』に、生徒たちは「初めて食べた」「おいしい！」と、新たに加わった“楽しい時間割”にワクワクの日々を送っています。



▲2 学期最初の給食の様子
(教育総務課)

STOP9 わが家の「ケータイルール」

夜 9 時以降はテレビゲームやスマホはやめて、十分な睡眠を取りましょう。
そして、毎朝欠かさず朝食を食べ、基本的生活習慣を身につけましょう。

この地に一筆都が育てる筆都も育てる (349)

熊野高等学校「オープンスクール」

8 月 19 日(火)にオープンスクールを開催しました。
体育館で行ったオープニングでは、書道部の生徒による大書パフォーマンスを披露しました。
全体説明会は、エアコンの効いた教室にてオンラインで行い、幅広い進路を叶える教育課程や、県内唯一の芸術類型ならではのカリキュラム、卒業後の進路について説明しました。また、生徒会が作成した学校紹介動画や「高校の授業体験」、熊高生が参加者の質問に答えるコーナーもあり、参加者も、実際の学校生活をイメージすることができたのではないのでしょうか。
再び体育館に戻って音楽部による演奏を鑑賞した後は、参加者ごとに部活動の体験・見学会を行いました。
暑い中、半日という短い時間でしたが、“リアル

な熊野高校”を体験してもらえたことと思います。
今回参加できなかった人も、ミニ・オープンスクールを 10 月 18 日(土)に開催します。詳細は、熊野高等学校ホームページからご確認いただけます。ぜひご参加ください。



▲書道部による大書パフォーマンス
☎熊野高等学校 ☎854－4 1 5 5

ハロウィンパーティー ～仮装して西防災交流センターへ集まれ！～

西防災交流センターで、ハロウィンのワークショップを開催します。講座の詳細は、館内のポスターやチラシ、または、町ホームページをご覧ください。

時 10 月 25 日(土) 10:00～ 所 西防災交流センター
対 年長～小学生
¥ 要参加材料費(ワークショップによって金額が異なります)
申 電話または直接事務室へ
締 10 月 2 日(木)～10 日(金) ※定員になり次第締切
問 西防災交流センター ☎854－1 6 7 3



町ホームページは
こちらだりん♪



人権とわたし

「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」受賞作品を紹介！(Part.12)

性別に関する固定概念(ジェンダーバイアス)の解消に向けた県主催の取り組みとして、エソール広島と連携して開催された「ちいともやもやジェンダー川柳コンテスト」の受賞作品を紹介します。

『だが君は 子育てあるから 無理だよね?』

(ひろぎんHD「未来をひろげる。」賞 受賞作品)

【企業からの評価コメント】「子育てあるから無理だよね」という優しさから発される言葉が、子育て中の従業員を成長機会から遠ざけてしまっている現実を的確に表現しています。どんな環境にあっても活躍・成長できる組織づくりについて考えさせられる、意義深い句だと思います。



出典:もやもや解消読本(広島県環境県民局わたらしい生き方応援課発)

(生活環境課)

いじめ、虐待、子育てなど、こどもの人権については『子どもの人権110番』へ
☎0120－007－110(祝日を除く月～金曜日 8:30～17:15)
広島法務局・広島県人権擁護委員連合会

子どもは地域で守る!! 『子ども 110 番の家』にご協力ください

☎青少年育成くまの町民会議事務局
教育総務課社会教育グループ ☎854－3 1 1 1